

談話室の設営と手際よく、全て時間内に終了する事ができました。

中林会長の挨拶、深澤研修部長の日程・事務処理関係の説明に続き十二時ジャストにスタート。受付で「大当たり〇〇賞」と福引きの賞品と参加賞の賞品券を手にして、展示会場の珠算会館の二階へ。会場では、今まで取引のある業者、ない業者に関わらず、展示場のあちこちで「質問」「説明」の様子がみられました。

さっそく商談成立、両手に商品がいつばいで汗をかかれています先生、帰りはいじょうぶでしょうか。注品を指定日時までに送付してもらった様子を先生方も多数お見せ、業者の顔色も例年にも増して良い様に思えました。

談話室では、限られた予算から、酒(ワンカップ・冷酒)・缶ビール・チューハイ・コーヒー・お茶・みかん・サンドイツチ・つまみ類などが用意されま



した。その外、お菓子・果物の差し入れもあり、ありがとうございました。

時間の許す限り多くの先生方に、談話室にお立ち寄りいただき、「教材・教具について」「指導方法について」「教場経営について」等、ゆつくりくつろいだ中にも、真剣にご歓談いただけただけは、接待を担当した者としては嬉しい限りです。

予定通り十五時に中林会長の挨拶をもって今年の教材・教具まつりも無事終了しました。

教材・教具まつり閉会后、直ちに後片付けに入る。業者は商品の精算のほか、荷造り・運搬の準備。研修部員は会館の片付け、トイレの清掃とがんばりました。特に今年は数名の若い先生に、最後までお手伝いしてもらい、紅白幕の高い所からの片付け等、本当に助かりました。

十六時に研修部長より「今年の教材・教具まつりも事故なく、無事に終了す

る事ができ、ありがとうございました。ご苦労様でした。」との労いの言葉が

あり、予定通り全て終了する事ができました。

第三回 人材育成講習会に参加して

浜松地区 加茂 栄子

平成二十四年三月二十六日、お昼頃伊東の里見恵子先生と共に京都駅に到着しました。会場は、八条東口にある「エルイン京都」です。

思えば、去年の三月、史上稀な被害による東日本大震災で、一年延期になっていた人材育成講習会です。テレビで被災地が映し出され、何度見ても自然に涙が滲んでくる光景でした。こんな不幸が二度と起きてほしくないと思え、色々考えた一年でした。

会場に着くなり、静岡の杉山忠郎先生がおられ、「とても緊張しています。」と告げると、「自分が発表する訳ではないのに何故緊張するの?」とニコニコして言われ、それもそうだな…。と思ひ、先生の一言で、すぐに楽になりました。そして午後一時よりオリエンテーションと記念撮影が終わり、いよいよ第一講座は、梶川眞秀理事長先生の「全珠連史」です。初めは、日本珠算協議会(日珠協)が昭和二十二年二月に設立、それが五年半で解散となり、二十八年六月から商工会議所の主催する日本珠算連盟が年三回検定試験を

行った。その後、荒木勲先生から、珠算人による検定試験開催の声かけがあり、珠算人の自主独立を旗印に、昭和二十八年九月全国珠算教育連盟が誕生したそうです。その後も社団法人の申請に大変苦労をされて、この連盟発展への基盤を築かれた事を聞き、五十年以上経って今も尚、公益法人の申請に諸先生方が、ご苦労なさっている事、会員として尽力しなければならぬと思ひました。

第二講座は、各委員会の運営についてで最初は、工藤寿和先生の競技事業です。全日本珠算選手権の様子を映像で拝見させてもらいました。最近では、見せる競技に常に頭を置き、大きなスクリーンの映像と迫力ある音で見物にきている父兄も楽しめる競技会だそうです。是非、見に来てほしい、との事でした。機会があったら見に行きたいと思ひます。

広報委員会の運営については、静岡の杉山忠郎先生です。広報事業の仕事、社会のPR・広報誌の発行・珠算のパブリシティ事業・ラジオCM・